



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和4年8月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

## ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

## ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

## 日医認定産業医研修(令和4年8月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
7月12日(火)	10時～	8月16日(火)	14時～16時	産業保健と法～産業医に関する裁判例～	更新2
7月14日(木)	10時～	8月4日(木)	14時～16時	労働安全衛生法規制の新しい動き～個人事業者に対する安全衛生管理と化学物質の新たな規制～	更新2
	10時30分～	8月18日(木)	14時～16時	過重労働による健康障害防止対策及び長時間労働への医師の面接指導について	専門2
7月15日(金)	10時～	8月26日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
8月4日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 7月14日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了	労働安全衛生法規制の新しい動き～個人事業者に対する安全衛生管理と化学物質の新たな規制～  2021年の最高裁判決を受け、労働者ではない一人親方等(個人事業者)の安全衛生対策を盛り込んだ安全衛生規則の改正がなされました。また、化学物質については個別具体的な規制を課す方式から、危険性・有害性が確認されたすべての物質を対象に濃度の管理・低減を行うが、その達成手段は事業者が自ら選択できる方式に切り替わることになりました。従来と大きく違う規制となる二つの動きについて考えたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	24
8月16日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 7月12日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了	産業保健と法～産業医に関する裁判例～  産業医が訴えられた例、産業医が深く関与した例のうち主要なものを取り上げ、事例と裁判所の判断、得られる実務上の示唆を学びます。	明治大学 兼任講師 原 俊之	生涯・更新2	24
8月18日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 7月14日(木) 10時30分～ 定員に達し 次第受付終了	過重労働による健康障害防止対策及び長時間労働への医師の面接指導について  本研修では、産業医から見た過重労働による健康障害防止対策全般について解説します。さらに脳・心臓疾患の発症が長時間労働との関連性が強いとされることから、労働安全衛生法第66条の8により、事業者には、医師による該当者への面接指導を行うことが義務付けられています。その長時間労働者への医師の面接指導の流れについても解説します。	森田 哲也	生涯・専門2	24
8月26日(金) 13:30～16:30 申込受付日時 7月15日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了	作業環境測定方法  本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の二酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・実地3	16

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**7月19日(火)10時～**です。

〈web研修〉 ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
8月24日(水) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】「職場における心の健康づくり計画」策定について</b></p> <p>職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあります。厚生労働省の調査によると、強いストレス要因を持つ労働者の割合は、全体の58%にのぼります(平成30年)。この数値からもメンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	<p>本山 恭子</p>	<p>単位なし</p>	<p>25</p>
8月25日(木) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】 職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策</b></p> <p>「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらし、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思えます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	<p>産業カウンセラー 森井 梢江</p>	<p>単位なし</p>	<p>25</p>
8月31日(水) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】 レジリエンスについて</b></p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p> <p>★重要★ web上でグループワークを行いますので、カメラ及びマイク機能が必要となります。 必ずカメラ機能をオンにして、ご参加ください。 有線LAN接続によるPCでの受講を強く推奨いたします。</p>	<p>レジリエ研究所 所長/ (一社)国際EAP協会 日本支部理事長 市川 佳居</p>	<p>単位なし</p>	<p>25</p>

〈会場研修〉

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
8月2日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑳～職場のハラスメント～ 労働施策総合推進等の改正により、パワーハラスメント対策が事業主の義務となり、セクシュアルハラスメント等の防止対策も強化されています。公表されている行政指針などを基に職場のハラスメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	単位なし	12
8月15日(月) 14:00～16:00	自前で進めるラインケア研修 ～管理職に求められるコミュニケーションスキル～ 職場のメンタルヘルス活動推進のキーマンは管理監督者です。管理監督者への研修のポイントを詳しく解説いたします。グループに分かれて実践演習を行います。 ※机は使用せず、椅子のみでの研修となります。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	単位なし	12
8月17日(水) 14:00～16:00	高齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～ 職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	12
8月22日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルスケア「社内研修の進め方」～コロナ禍とラインケア～ コロナ禍3年目となり、生活様式や労働現場が大きく変わってきました。社員間のコミュニケーションの工夫はもとより、ラインケアの在り方にも変化があるようです。最近、誰もが安心して発言や行動ができる職場環境づくりについて「心理的安全性」という視点からも説明されています。 ラインケアについて社内研修の進め方について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	12

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**7月19日(火)10時～**です。

＜web研修＞ ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください◆**

研修日時	研修テーマ	講師	定員
8月24日(水) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> 「職場における心の健康づくり計画」策定について</p> <p>職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあります。厚生労働省の調査によると、強いストレス要因を持つ労働者の割合は、全体の58%にのぼります(平成30年)。この数値からもメンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	<p>本山 恭子</p>	25
8月25日(木) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> 職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策</p> <p>「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらし、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	<p>産業カウンセラー 森井 梢江</p>	25
8月31日(水) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p> <p>★重要★ web上でグループワークを行いますので、カメラ及びマイク機能が必要となります。 必ずカメラ機能をオンにして、ご参加ください。 有線LAN接続によるPCでの受講を強く推奨いたします。</p>	<p>レジリエ研究所 所長/ (一社)国際EAP協会 日本支部理事長 市川 佳居</p>	25

〈会場研修〉

研修日時	研修テーマ	講師	定員
8月2日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑳～職場のハラスメント～ 労働施策総合推進等の改正により、パワーハラスメント対策が事業主の義務となり、セクシュアルハラスメント等の防止対策も強化されています。公表されている行政指針などを基に職場のハラスメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	12
8月15日(月) 14:00～16:00	自前で進めるラインケア研修 ～管理職に求められるコミュニケーションスキル～ 職場のメンタルヘルス活動推進のキーマンは管理監督者です。管理監督者への研修のポイントを詳しく解説いたします。グループに分かれて実践演習を行います。 ※机は使用せず、椅子のみでの研修となります。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	12
8月17日(水) 14:00～16:00	高齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～ 職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有病率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	12
8月22日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルスケア「社内研修の進め方」～コロナ禍とラインケア～ コロナ禍3年目となり、生活様式や労働現場が大きく変わってきました。社員間のコミュニケーションの工夫はもとより、ラインケアの在り方にも変化があるようです。最近、誰もが安心して発言や行動ができる職場環境づくりについて「心理的安全性」という視点からも説明されています。 ラインケアについて社内研修の進め方について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	12